

世田谷区におけるワーク・ライフ・バランスに関連する主な施策(詳細)

施策番号	施策名	内容・取組み	関係課
1	母子自立支援プログラム	総合支所生活支援課とハローワークが連携して、母子家庭の母に面接を行い。希望や経験を聞きながら、職業訓練や就労支援を行う。支援メニューとしては、 就労支援ナビゲーターによる支援 トライアル雇用 公共職業訓練の受講 民間の教育訓練講座の受講 一般の職業相談・紹介	子ども家庭支援課 総合支所生活支援課
2	母子家庭自立支援教育訓練	母子家庭の母親が、就労に必要な教育訓練対象講座を受講した場合に、その経費の一部を支給する。	子ども家庭支援課 総合支所生活支援課
3	就労支援総合窓口	産業振興公社が行う職業紹介事業において、求人事業者にこのことの周知を図っている。	工業・雇用促進課
4	就職面接会・出張相談会開催	ハローワークや産業振興公社と連携し、幅広い年齢層に向けたワークフェアを開催。	工業・雇用促進課
5	ハローワークとの連携	区報、掲示物やチラシ等により周知を図っている。	工業・雇用促進課
6	中学校社会科	公民的分野において、社会生活における職業の意義や役割及び雇用と労働条件の改善などについて学んでいる。	教育指導課
7	キャリア教育の推進	キャリア教育に関する指導力の向上を図るため、全小・中学校でキャリア教育担当教員を指定する。	教育指導課
8	キャリア教育の推進	区立中学校において、区内の商業、工業、農業等の関係者の協力を得て、3日以上職場体験活動を実施する。	教育指導課
9	キャリア教育の推進	キャリア教育に関する研究を行う学校を指定し、その成果を発表する。(平成20年度は小学校1校、中学校1校)	教育指導課
10	男女共同参画先進事業者の表彰	企業に男性も含めた育児休業の取得や助成の積極的な活用などへの理解を促すため、男女共同参画の視点に立った雇用者支援策などに積極的に取り組む事業者を表彰する。	
11	世田谷ひと・まち塾	地域及び地域活動に関する基礎講座、地域活動を主体的に企画運営する実地講座を行うことによって、地域の支えあいの中心となる「地域活動の実践者」「地域活動のリーダー」「地域活動を支援するコーディネーター」を育成する。	介護予防担当部生涯現役推進課
12	生涯現役フェア	生涯現役をめざす定年退職前後の中高齢者を中心に、地域活動団体、大学、企業等とのマッチングの機会と、同世代の交流の場を提供。	介護予防担当部生涯現役推進課
13	生涯大学	高齢者が、自らの文化・知識を豊かにして生きがいのある生活を営み、地域の発展と連帯に主体的に取り組むための自己啓発の場として、昭和52年に設置。	介護予防担当部生涯現役推進課
14	園芸講座、陶芸講座、工芸教室、土と農の交流園講座	高齢者が豊かで生きがいのある生活が送れるように、各種講座を開催し、支援する。	介護予防担当部生涯現役推進課

15	職場出前講座(こころとからだの健康づくり出前一丁)	ねらい:事業形態や規模により、仕事中心の生活になりがちな中小事業所に向け、職員一人ひとりの、日常生活の振り返りや、心身の健康維持を進めるためのモデル事業。 方法:健康のためにあらためて時間を確保しにくい中小事業所へ直接出向いて、主に心の健康に関する情報を届ける参加型の講座の提供。 対象:従業員1~50人程度の事業所や商店等。 内容:内容や実施時間などは事業主と相談のうえ決定する(例:健康やストレスに関するセルフチェック、休憩時間の活かし方、眠りの質を高める工夫など)	世田谷保健所健康推進課
16	保育施設整備 認証保育所事業 単独施設型一時保育事業 病児・病後児保育事業	認可保育園、認証保育所、認定こども園などの多様なサービス提供主体により、定員枠の拡大や延長保育、一時保育等の拡大を図るとともに、利用者への負担軽減補助の拡充により保育サービスの充実をはかる。	こども部 保育課
17	家庭福祉員制度運営 子育て支援事業	補助と評価の仕組みや、巡回指導相談体制の整備・強化を図るとともに、世田谷型保育プログラムの策定と活用により、保育の質の向上に努める。	こども部 保育課
18	中小企業子育て支援両立促進補助金	中小企業での育児休業、短時間勤務制度の取得促進を図り、仕事と子育ての両立できる環境づくりを行う。	工業・雇用促進課
19	地域に密着した在宅サービスの実施	高齢者などが、住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、事業者や区民と区が協力連携して在宅生活を支援する基盤整備と仕組みづくりを行う。	
20	シルバー人材センター支援	健康で働く意欲のある概ね60歳以上の会員に向けた、臨時的、短期的な請負仕事を紹介している。	工業・雇用促進課
21	アクティブシニア支援	高齢者を対象として臨時的かつ短期的雇用または週20時間未満の軽易な仕事を紹介している。	工業・雇用促進課
22	女性の起業支援	チャレンジウィークは、女性がコミュニティカフェを利用し企業に向けたアイデアや事業プランを実践する場として活用する週間として開催。	工業・雇用促進課
23	両親学級の実施 パパの子育て応援講座の開催	出産を控えた妊婦への母親学級の一環として、父親の育児参加や役割等の啓発目的とした夫婦参加型の両親学級を各総合支所健康づくり課で開催している。 子育てに必要な夫婦の円滑なコミュニケーションをテーマに、夫婦参加型の講演会を開催している。	世田谷保健所健康推進課
24	産業基礎調査	採用状況や雇用環境の項目を広く調査。	工業・雇用促進課
25	たまがわ保健福祉交流会	玉川地域管内で活動する保健福祉活動団体や事業者、個人等を対象に「地域の支えあい」を主な目的として、情報交換やネットワークづくり、研修・学習会を実施している。 参加数82 (ふれあいいいききサロン、支えあいミニデイ、あんしんすこやかセンターなど) H20年度の活動 4月 第1回全体会(特定健診講演会など) 9月 第2回全体会(「活動中に大地震が起こったら」講演やグループワークなど) 1~3月(予定) 第3回全体会(内容未定) 他に、毎月世話人会を開催している。	玉川総合支所 保健福祉課
26	せたがやeカレッジ	区内の4大学(農大、駒沢、国士館、昭和女子大)と区教育委員会が協働で「せたがやeカレッジ」を設立し、世田谷区の豊かな知識財をインターネットを通し、いつでも、誰でも受講できる学習サービス	生涯学習・地域・学校連携
27	リカレント学習講座	区内の大学と連携しリカレント学習講座を開設	生涯学習・地域・学校連携

28	新BOP事業	区立小学校施設を活用した放課後児童健全育成事業(全64校で実施)。放課後の安全な遊び場を確保し、自主的な遊びを通して社会性や創造性を培い、児童の健全育成を図るBOP(Base Of Playing:遊びの基地)に、学童クラブ(就労等により放課後の保護育成が困難な家庭の児童に遊びと生活の場を提供し心身の健やかな発達を促す)機能を併せ持つ。	子ども部児童課
29	障害者の就労支援	障害者が就労することで、経済的基盤を確立し、地域で安定した就労生活が送れるよう、障害者への就労から就労後の生活まで一貫した支援を行う。	障害者地域生活課
30	消費者カレッジ ステップアップ講座 出前講座 公開講座 連続セミナー 等 消費者啓発 消費生活だより等の発行 消費者あんしんサポーター養成講座 等 教員向け消費者教育研修等 消費生活相談	<p>消費者カレッジ～消費者が自ら主体的に学習する機会として総合的な学習の場を提供する。(会場:消費生活センター等)</p> <p>ステップアップ講座～消費生活に関する様々な情報を地域の中で広く伝える人材を育成する。(契約の知識・くらしと経済・食生活を考える・くらしの中の環境問題・社会保障制度を考える等 - 19年度講義実績)</p> <p>出前講座～学校や地域、あんしんすこやかセンター等に消費生活に関する知識・情報を広く伝えるため、区民の講師を派遣する。(悪質商法からくらしを守る、契約トラブルに巻き込まれないために等 - 19年度実績)</p> <p>公開講座～消費生活に関する身近な話題をテーマに生活に役立つ講座を開催する。(会場:世田谷産業プラザ等)(子どもとお金の最新事情・葬儀の基礎知識・遺言について・お墓のはなし・夏休み親子教室・今日からはじめるナチュラルクリーニング - 19年度実績)</p> <p>連続セミナー～消費生活に関する様々なテーマを複数回に渡りじっくり学ぶ連続の講座を開催する。(会場:消費生活課)(知識は生活設計の第1歩、あなたに必要な準備資金は?・金融商品を見極める、広告の冷静な読み方・生き生きとした生活設計のために - お金そして生き方・カルシウムたっぷり料理を味わおう手作りの一品から始まる食育(講義と実演) - 19年度実績)</p> <p>消費者啓発～消費者問題に関する意識の向上と被害の未然防止を図るため、日常生活に関わる情報を分かりやすく提供する。消費生活センターだより(悪質商法、多重債務他)・小中学生向け冊子「めざせ!おこづかいの達人」他・若者向け啓発チラシ「身近にあります!悪質商法」・「くらしのかわらばん」(点検商法、SF商法等)・契約しませんシール - 19年度実績</p> <p>消費者あんしんサポーター養成講座(消費者あんしん講座の講師である消費者あんしんサポーターを養成することを目的として、講座や演習を実施する。</p> <p>消費者あんしん講座(高齢者の消費者被害を未然に防止するために高齢者の会合等にあんしんサポーターを派遣して悪質商法に関する手口や対処法を伝える。</p> <p>教員向け消費者教育研修(学校教育における消費者教育の推進・社会科の授業における消費者教育等 - 19年度実績)</p> <p>消費生活相談～相談内容は、一般的な生活知識や買い物相談から、商品の安全性・品質・機能や事業者との間に生じた契約をめぐる問題等、高度な専門知識を必要とするものまで広範囲に渡る。(相談件数は、年7,183件、 - 19年度実績)</p>	消費生活課

31	区民健康村事業	豊かな自然環境の中で、健康の増進及び余暇活動の充実を図り、区民同士や川場村民との交流を通して、生きがいの発見や明日への活力を生み出す。	区民健康村・ふるさと交流課
32	後期健康きたざわプランの推進	少しでも「ゆとり」を持ちながら楽しく子育てできるように、家族ぐるみ、会社ぐるみ・地域ぐるみで子育てできるような環境づくりを進める。 ・「週に一度は19時(いくじ)に帰ろう」をキャッチフレーズにした冊子を、普及啓発する。 ・ゆとりをもった子育てができるような環境づくりに取り組む	北沢総合支所 健康づくり課
33	就労支援総合窓口	産業振興公社と連携し、幅広い年齢層に向けたセミナーを開催。	工業・雇用促進課
34	共催研修「男女共同参画～ワーク・ライフ・バランスを考える～」	区内最大の事業所の責務として、区職員が積極的にワークライフバランス意識の醸成を図ることを目的として、基調講演及びワークショップを実施する。	研修調査室